

銚田町商工会青年部会報



Enjoy 青年部 (微 明)

No.20 平成10年度版

発行日 平成11年3月31日
編集 銚田町商工会青年部
広報委員会
発行者 銚田町商工会青年部
部長 田口 裕之
銚田町大字銚田 2482-1
TEL 0291-32-2246

Contents (目次)

- P 1 24時間耐久事業
発刊にあたり
- P 2 青年部主催行事
- P 3 町長との対話、フォーラム
特別講演会
- P 4 新入生卒業生紹介
かけがえのないもの

初の試み!! 「24時間耐久事業」



みんなでワイワイ バーベキュー

「今年もやるぞ!! 耐久事業!!」

青年部では、部員間の親睦を深めるため平成10年、七月十八日(土)より十九日(日)にかけて、二十四時間耐久事業を行いました。延べ百三十名の参加者があり、普段見かけることのない部員

の素顔を見ることができ、田口部長以下最後まで残った部員たちの表情には、疲れているにもかかわらず、やりとげたといい満足感が漂っていました。



童心にもどって大物釣り?

平成10年度も、中小企業や、小規模企業を取り巻く環境は、中心市街地の空洞化や消費の低迷、後継者不足、消費者嗜好の多様化等問題が山積しており、未だ厳しい状況にあると思えます。

そういう中、青年部も、活動への参加率の低迷等の問題があります。内容等の見直しを迫られています。その改善策として、今年度は、24時間耐久事業を行いました。各項目を設け、好きな時間帯に、好きな項目のいずれかに出席すれば、この事業に参



微明「ENJOY青年部」
青年部部长 田口裕之
発刊にあたり

加したとみなすことを試みました。結果としては、100%の出席率にはならなかったものの、総勢130名の部員が参加したことになり、部員や家族間との親睦にもつながり、スリーピングメンバリの掘り起こしにもなりました。

また、一回目の講演会では、(株)ジャングルの秋本氏をお迎えして、銚田町をPRし、交流人口の増加を見込んだ町おこし収益事業等のお話しを聞き、商売人としての町おこしの展開の仕方を学びました。また、三町村合同講演会では、世界一のギターメーカーである(株)フジゲン会長の横内氏をお迎えし、高齢にもかかわらずエネルギーシユで、力強い、お話しの中で、商売の原点たるものを見たような気が致しました。

そして十月には、雨天順延となりましたが、第三回目となる青年部屋台村わくわく夕市をに

ぎやかに開催することができました。これも偏に、商工会を初め、婦人部、農業青年経営者協議会の皆様、役場、その他各関係者の御協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

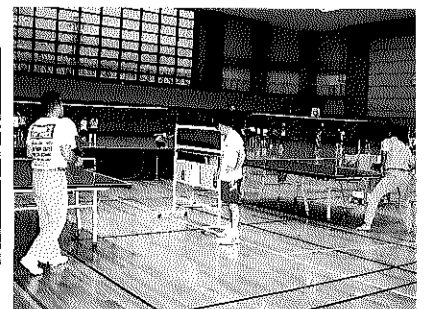
その他活動として、ほっとパークほこた健康ふれあい祭りや、ふれあいわくわく市のイベント協力、第二回鹿行北鄙リーグサッカー大会、クリーンレイク&リバー北浦の水辺をつなごうドラゴンボートの参加や、スキーバスツアー等、盛り沢山の事業を体験しました。

今年度もこうした活動を通して感じたことは、高き志と、熱き行動、そして、暖かい思いやりが、事業を成功させ、町づくりの原動力となっていくのだと思います。

今後とも、青年部に対しまして、御指導、御協力の程をお願い申し上げます。

	日 時	催事名及び内容	場 所
1	7月18日(土) PM 5:00~	体育館内スポーツ (バドミントン・卓球)	銚田町総合運動公園体育館
2	PM 7:00~	夕食会	銚田町内
3	PM 9:00~	ボウリング	ヤングボウル
4	7月19日(日) AM 0:00	室内各種遊戯 (麻雀・トランプ・将棋)	銚田町商工会館2階
5	AM 3:00~	討論会	銚田町商工会館2階
6	AM 5:00~	銚田町散策	銚田町内
7	AM 7:00~	朝食会	銚田町内
8	AM 9:00~	マリン フェスティバル	銚田町大竹海岸
9	AM 11:00~	つり大会	銚田町内
10	PM 1:00~	ほっとパーク銚田 施設利用	銚田町当間 「ほっとパーク銚田」
11	PM 3:00~	家族親睦 バーベキュー	銚田町商工会駐車場

だれが一番 ボーリング



やったことのない人どうしの白熱戦

平成10年10月18日(日)

青年部「屋台村・わくわく夕市」

—地域の人々との語り合い、ふれあいをテーマに—



やったー！大当たり

子供も大人も大喜びでした。売店では、やきそば、ポップコーン、やきとり、フランクフルト、かき氷などが人気でした。イベントでは、昨年引き続き「パスケット・フリースロー」新たに「ストラックアウト」「ペットボトル倒し」「金魚すくい」と盛り沢山。特に「ストラックアウト」は、テレビ番組の影響もあってか順番待ちで大行列でした。

また、出店協力していただいた小島洋品店、珍満、ハイベル、銚田町青年農業経営者協議会による野菜の即売、商工会婦人部によるふかし芋の無料サービス、新米の無料配布等も大盛況でした。

今年も、空くじなしのチケット制にしたので、貰った賞品に

銚田町商工会青年部主催による「屋台村・わくわく夕市」が平成10年10月18日に商工会無料駐車場に於いて行われました。天候不順のため一日順延となり当日の天候も心配しながらの開催になりました。第三回目となる今年も、会場いっぱいテナントを設置し万国旗を張りめぐらせ、準備万端で正午の開催を迎えました。

第三回 今年も大盛況

青年部行事報告

青年部親睦旅行

担当委員長

久保田 豊



箱根

今回の親睦旅行は、箱根湯本一泊二日の旅です。参加人数は、若干少なめの十一人で行って来ました。

初日は、東名高速経由で箱根まで、そして、観光名所を廻るわけでした。しかし誰の行いが良いのか悪いのか、生憎の大雪となり昼食を峠の喜多方ラーメン屋でとり、ホテル直行となってしまいました。

何処も奇れなく、力があまってしまったのか、夜の親睦宴会は飲めや歌えの大さき「J恋のカラクリ夢多居」状態でした。

二日目も天候は回復せず、おみやげ屋経由、東京浅草直行となつてしまいました。

なぜ箱根に行つて、浅草なのかといえは、これは話せば長くなるので今は、言わないこととしておきます。

前文の話や、もっと楽しい旅行の内容など、おもしろい場面もあるのですが、これは、旅行参加者だけ話せる(秘)なので、もっと楽しい場面、ショートタイムなど、ごらんになりたい方は、来年度の旅行に参加してはみませんか？青年部〇〇隊があなたの旅行ライフを協力いたします。

あなたの参加を心よりお待ちしております。

99 スキーバスツアー

担当副委員長

川崎 孝行

平成11年、2月21日、夜行日帰りの日程でスキーバスツアーに行つてまいりました。場所は、福島県アルツ磐梯スキー場で、44名の予定でしたが、2名欠席の為、42名で出発しました。42名の内11名が小学生以下と、とてもアットホームなツアーになりました。

6時半着の予定が5時に着き駐車場まで6時まで夢の中、6時には早朝組がスタート。部員や子供連れの参加者は、8時スタートということになり、子供は夢の中。そして眠い目を擦りながらのスタート時間、ゲレンデを見た子供達は、目を輝かせて我先に着替えをしている様子でした。

ゲレンデに到着し、子供達と初心者を引きつけて緩やかな斜面へ行きました。セットできずに倒れ込む子、ぎこちなく滑る子、板をかついで歩き回る子様々です。ここで、気が付いたのですが、ゲレンデを滑りぬける人達は皆スノーボード、2枚の板をはいている人は、みかけませんでした。しかし、ツアーの初心者、みんなスキー板です。横歩きから練習を始めました。特に真面目だったのが、部員の鬼沢さんでした。眼鏡を曇らせ、肩で息をしていました。

必ずといってコブのある場所へ滑つてしまい、ジャンプ：なぜそんな高度な事をと聞けば、本人曰く、「気が付くとそこに行つている」とのことでした。

そうこうしている中、休憩・食事をとろうという事になりました。考えて見れば、朝食もとらず滑っていたわけですから

皆、お腹がペコペコです。私は、チャイシューメンとカツカレーとビールという軽めのお食事をとり終えいすに寄りかかりゆつくりしていると、見覚えのある子供達が外から私を凝視していました。子供達は「早くしろ」と言わんばかりに私にプレッシャーをかけていました。それからしばらく滑る子、ソリをして遊ぶ子、雪集めをする子等、みんな本当に楽しそうでした。そして、名残りおしみつつも終了時間となり、バスに戻り各々がゲレンデの様子をおみやげがどうこう...中には温泉の話も...?そうです。温泉があったら人も結構いたようなのです。うらやましいなあ.....

平成10年度青年部事業一覧

- 4/24 平成10年度通常総会(銚田町商工会館)
- 4/29 第二回鹿行北部サッカーリーグ銚田町商工会長杯開会式(銚田町総合運動公園)
- 5/1 鹿行地区青年部総会(北浦町 かどや)
- 5/3 4 レイクフェスタ協力(銚田町安塚地内)
- 5/14 県商工会青年部連合会通常総会(潮来町 潮来ホテル)
- 5/14 県商工会青年部連合会正副部長研修会(潮来町 潮来ホテル)
- 5/27 鹿行地区青年部野球大会(神栖町 神之池野球場)
- 6/7 環境美化推進運動(新銚田駅・旧町内)
- 6/15 講演会「町おこし事業と青年部のかかわりあい」講師 秋本美樹氏
- 6/17 鹿行地区副部長研修会・交流会(牛堀町 霞ヶ浦ホテル)
- 7/9 鹿行地区青年部ゴルフ大会(玉造ゴルフ倶楽部)
- 7/12 大竹海岸ビーチクリン作戦(大竹海岸)
- 7/18 ドラゴンボートで慶喜の足跡しのぶ(銚田川河口・銚子大橋)
- 7/18 24時間耐久事業(銚田町商工会館他)
- 7/19 9/6 マリンフェスティバル協力(大竹海岸)
- 7/22 県商工会青年の主張発表会(県民文化センター)
- 9/15 大竹海岸清掃(大竹海岸)
- 10/18 屋台村「わくわく夕市」(商工会・無料駐車場)
- 12/6 忘年会(東食堂)
- 1/21 三町村特別講演会「ゼロから世界へ」講師 横内祐一郎氏
- 1/21 鹿行地区ボウリング大会(銚田町ヤングボウル)
- 1/24 25 親睦旅行(箱根)
- 1/29 茨城町青年部交流会(水戸レイクサイドボウル)
- 2/21 スキーバスツアー(磐梯アルツスキー場)
- 2/25 町長との対話(銚田町商工会館)
- 2/27 常陸太田市青年部交流会(ヤングボウル みちのく)
- 3/4 5 県商工会青年部正副部長研修会(大洗シーサイドホテル)
- 3/15 講演会「積極的心構えとスマイルパワー」講師 高橋稔氏

三町村特別講演会

去る二月二十一日午後二時から三時に鉾田町商工会研修室に於いて、鉾田町・大洋村・旭村の青年部合同の講演会が催された。

講師にフジゲン楽器会長の横内祐一郎氏を御招きし、「ゼロから世界へ」ということで、感動的な講演を拝聴させて頂きました。



「ゼロから世界へ」という、文字通りの横内氏（フジゲン楽器会長）の体験談である。農家の長男として生まれ、家業を継いだり、自分の好きな仕事ではないので、家を飛び出しバイオリン作りを始めた。

私も人生には、三回のチャンスがあると思うが、横内氏はこのチャンスを見事に成功させた一人である。それまでには色々な苦労があったが、壁にぶつかる度に悩んだり、時には泣いたりして乗り越えて行くと、バイオリン作りから始めて、

最終的には、ギター作りで世界一になった。単身でアメリカに渡り、言葉も分からなく、友達もいない所で悩んでいる時に一人の外国人と出会い、彼の家で英語を勉強するのだが、人生とはまさに人との出会いだと思ふ。

この外国人と出会うことがなかったら、今日の私はなかったと思う、と横内氏は言っている。

私も今まで色々な講演会に参加したが、初めの頃は早く終わらないだろうかと、眠くなって耳を傾けられなかった。しかし、ある講演会で興味のあつた話を二時間聞いた。その後の懇親会で、その講師は、どこの誰だか分からない男に、色々なアドバイスや話をしてくれられた。そして最後には、何か悩んだりした時には電話をして下さいと、私に名刺をくれました。年間に何百億という仕事をしていた、忙しい講師がそんな事を言うのである。私は感動し、この講師の人としての器の大きさに驚いてしまいました。

このように話上手な講師、眠くなってしまふ講師等様々であるが、どんな人でもその話の中には、一つだけは良い事を言

っていると思う。みなさんが講演会に来るのにも、仕事やプライベートの大切な時間を割いて来ているのだから、一つでも何か身につけ頭に残るような講演会の開き方をしてもらいたい。それが商売や生きていく上で、とても大きくなっていくし人間的にも大きくなれると私は思っている。

委員長 岡里剛治

ガンバレ

野球部

めさせ県大会優勝!!

九十八年、野球部は、私が新監督となり新たにスタートしました。

監督 荒野圭一

前年の鹿行地区では、「おごり」もあり決勝にすら行くことができませんでした。今年こそは地区大会を制し、県大会での優勝を目標に、地区大会に臨みましたが、おしくも神栖町商工会青年部に、同点の末、ジャンケンで敗退してしまいました。

九十九年、今年も厳しい戦いになると予想されますが、目標はあくまでも県大会で優勝することにこだわり、地区大会の一回戦から一戦一戦、全力で戦っていきたいと思います。

「優勝」という報告ができました。よう、野球部全員が一丸となってガンバリますので、みなさんの応援をよろしくお願い致します。

監督 荒野圭一

フォーラム (討論会)

去る二月の月例会に於いて、広報委員会(の進行で)青年部員間におけるフォーラム(討論会)を開きました。

この後の懇親会で、その講師は、どこの誰だか分からない男に、色々なアドバイスや話をしてくれられた。そして最後には、何か悩んだりした時には電話をして下さいと、私に名刺をくれました。年間に何百億という仕事をしていた、忙しい講師がそんな事を言うのである。私は感動し、この講師の人としての器の大きさに驚いてしまいました。

このように話上手な講師、眠くなってしまふ講師等様々であるが、どんな人でもその話の中には、一つだけは良い事を言

「青年部のこれから」というテーマのもと十五人で行いました。

根本「本来青年部とは、どのような目的を持っているのか。」

田口「...商工業の商売の発展の



町長との対話集会が開かれる

二月二十五日、PM7:00より、商工会青年部研修室により、小室町長をお招きしての対話集会が開かれました。

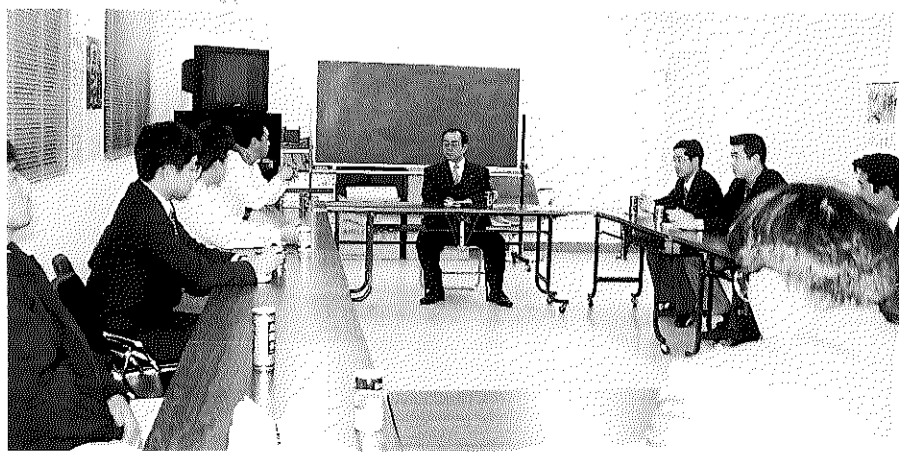
町長との対話集会にあたって

私達は、この経済不況の中、家業の後継者として青年部活動を通して、地域活性化のため、また、自営業の役に立てるため、日々、勉強し、交流を深めています。

この町執行部との対話集会も、私達が事業を進めていく中で、私達の考えを、町当局の商工業に対する考えをお聞きして、その確認と今後の展望を図ろうと一年一回行っております。今回は、就任間もない、小室町長をお招きして対話集会を開きました。

町長は、冒頭の挨拶の中で、今、行政は、開発型行政から、生活型行政へと転換を図っていかなければならず、環境、福祉、医療、教育の各分野を柱に地場産業の振興、道路行政の充実に努力していきたいと述べられました。

続いて青年部員からいくつかの意見や質問がなされ、最初、工業団地の誘致問題が出され、職場の提供や、横這いの人口増加に拍車をかけるためにも進行させる必要があるということでした。また、ふくれ田の問題においては県の補助事業として格付けが必要なこと、あるいは、観光開発においては、土地の買収がきわめてむずかしい土地柄



であることや、鉾田町のすばらしい豊富な資源の活用が交流人口の増加につながるためには、最も必要なこととして揚げられました。その他、ソフト面、ハード面に亘って意見が交わされ、和やかな中にも、きびしい眼差しで現況を見つめながら、今後の鉾田町の展望を語り合うことができ、町民すべてが、住み良い、潤いのある町として今後も発展することを願う時間が取れました。

集会終了後、懇親会では、なごやかに、笑いを混じえての話が出来ました。

新入部員紹介 (平成10年度)



今泉 清光

今泉時計店 (桜本)

青年部に入って1年が過ぎようとしています。自分の考えとして、もっと人の集まるイベントをしていけたらと思います。これからの経営に対して青年部員の御意見が聞ければと思っています。

●趣味 ドライブ



木村 雅光

(株)木村電化センター (横町)

好きな野球がしたくて青年部に入りました。近隣町村との親睦野球や鹿行地区大会を通して、部員間の交流など今までにない経験ができました。これからもよろしくお願ひ致します。

●趣味 野球



内田 和紀

内田工務店 (仲須)

商工会青年部の行事や他の町村の青年部との懇親会などにおいて、自分の仕事の事など相談したり、良きアドバイスを受けたり出来て自分にとってとても為になっています。これからも青年部を通して若者の楽しめる行事、イベントに参加して行きたいと思っています。

●趣味 バイク・野球・スノーボード



深作 尚史

(株)水戸屋 (串挽)

まだ青年部に入ったばかりで、どんな活動をしている所かよく分かりませんが、色々勉強してがんばりますので、よろしくお願ひ致します。

●趣味 スキー



野口 正洋

野口理容室 (本橋町)

今まで青年部なんて堅苦しい所だろうと思っていたんですが、入ってみると以外に楽しい所に入ってよかったと思っています。これからお世話になりますのでよろしく。

●趣味 特にありません



飯塚 公生

ケイズクリエーション (白塚)

銚田町商工業の状況、これからどう伸ばして行けば良いのか色々興味がありますのでご指導の程宜しくお願ひいたします。

卒業おめでとうございます

(平成10年度卒業生)

永年に渡り青年部活動に参加、協力されご苦労様でした。益々の御活躍を期待致します。



山崎 浩
(有)ヤマザキ 野友



椎木 定夫
はとや豆腐店 借宿



加藤 明
東食堂 徳宿東野



阿久津 慎一
アックス建設(株) 塔ヶ崎



かけがえのないもの

商工会事務局 小宮比佐志

私が商工会職員として勤務してから丸五年が過ぎようとしています。青年部担当として振り返って見ると、歴代部長を始めとして部員の方々には、お世話になりっぱなしでした。時には厳しいアドバイス、時にはやさしいフォロー等もありましたが、いずれにしても私にとって一つ一つが思い出です。その中でも特に印象に残っているものがあります。

まず第一に、土子部長の時の三十周年記念事業です。記念式典、記念講演会、パーティー等を行いました。この時は、事前にもいろいろ準備しましたが、当日になって慌ててしまい、先輩職員や青年部の諸先輩にもいろいろ助けていただきました。第二に、川島部長の時ですが「ほこたフェスティバル」の代わりとして「青年部屋台村」を新たに始めました。この事業が行われるまでは、何度も何度も会議を行い、試行錯誤を繰り返してできたので、私としても何か一つの達成感という充実したものが残りました。そして、田口部長の時ですが

「青年部屋台村」は、引き続き行われてきましたが、新たに「二十四時間耐久事業」を企画しました。この事業は、普段なかなか出席できない部員たちにも何か一つでも参加してもらえればという事で、二十四時間中に様々なイベントを組み入れて行いました。私は、最後のパーティーキユーが特に印象に残っています。

以上三つが私にとって特に印象に残っているものですが、三つとも言える事は、部員のみならず、団結して一つの事を成しとげたということです。これは組織として非常に大事な事だと思っています。近年、青年部活動を行ううにあたり、部員の参加が年々厳しい状況にあります。同時にそれは、「時代の流れ」という大きな壁にぶちあたっているのかもしれない。しかし、先程の三つの事業の様に、部員の一人一人が組織を運営していくという意識を持っていけば、出席率も高まるのではないかと



青年部は真剣です (10年度総会より)

編集後記

去年立てた目的「Enjoy 広報」の充実については、広報委員の協力により、本年度は八回発行する事が出来ました。今年度は、広報委員を中心に、月例会に於いて、フォーラムを

開く事になりました。その内容については、月刊紙にてお伝えしていきたいと思っています。広報についての御意見、又は青年部に対しての要望等がありましたら、商工会事務局に設置してある「投書箱」に一筆お願ひ致します。(一樹)